

日光山 湯本温泉寺

湯元温泉の源泉に位置する輪王寺の分院で、このお寺では、予約制で一般公開されている源泉かけ流しのお風呂を営んでいる。

この温泉は、788年に勝道上人（735～817）によって発見された。現在の寺の裏山の山頂に創建し、薬師如来像を安置したのが始まりとされる。勝道は、この地を「薬師湯」と名付けた。

1966年の台風の際、巨大な玉石が山を下って崩れ落ち、元の寺が崩れたが、薬師如来像は奇跡的に生き残り、玉石の上に座っているのが発見された。寺は1973年に再建され、薬師如来像は中央の大台に本尊として安置された。

大台の前には護摩焚きの祭壇がある。祭壇の隣には延命地藏像があり、信者の健康長寿を祈願しているといわれている。